



数え100歳

山歩きが好きで得意料理「蒸かし饅頭」は絶品

三浦こきくさん

満99歳を迎えた三浦こきくさん（㊦上の山）に、10月3日（水）、町から白寿のお祝い金などが贈られました。

明治41年（1908年）10月4日に入谷地区に生まれ、結婚後は夫の染物業を手伝いながら11人の子どもを育て、孫は12人、ひ孫は8人と家族にも恵まれています。

料理が得意で、中でも「蒸かし饅頭」は絶品で、近所の評判でした。また、山歩きが好きで、近くの山に良く出かけては、たけのこやきのこなど山菜採りを楽しんでいました。

しかし、数年前から足腰が弱り、今年6月から寝たきりになったので、今は家族の話に耳を傾け、会話をしています。

家族の皆さんは、「山歩きと、ご近所さんとのお茶のみ話でたくさん話したかならかな？」と長生きの秘訣を教えてくださいました。また、「もっと元気でいて欲しいから、多く話かけるよう努めています。」と話していました。

これからもますますお元気で過ごしてください。



子どもたちが繭マスコットで交通安全を呼びかけ



安全運転を呼びかける子どもたち

9月20日（木）、戸倉小学校の子どもたちが、国道45号黒崎パーキングで、手作りの繭マスコットを配り、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

配られた繭マスコットは、子どもたちが学校で育てた蚕が作った繭を使い、色付けや糸で結んで気持ちを込めて作った、お守りのようなものです。

子どもたちは、運転手にマスコットを手渡ししながら、元気に「安全運転をお願いします!」と呼びかけていました。

子どもたちのヒラメ稚魚放流体験

9月28日（金）、清水漁港で、来春統合予定の荒砥小学校と清水小学校の全校児童83人が、ヒラメの稚魚の放流を体験しました。

これは、志津川湾水産資源増殖管理推進協議会が子どもたちに地域の産業を知ってもらおうと、町内の小学生を対象に毎年行っている体験放流です。

この日放流したヒラメは、南三陸町海浜高度利用センターの中間育成で15センチメートル程度に育った稚魚、約千匹。

子どもたちは、バケツに分けてもらった稚魚を「大きくなってね」などと呼びかけながら、ていねいに海に放していました。



ヒラメの稚魚に声をかけながら放流

南三陸地域の15校が出場



秋晴れの下 中学生が熱戦

9月14日（土）、15日（日）の2日間、第29回南三陸地域中学校野球大会が平成の森しおかぜ球場など3球場で開催されました。

この大会は、南三陸地域（気仙沼市、本吉郡、登米市津山町）の中学校の1、2年生が出場する新人戦です。

どの試合も熱戦を繰り広げ、出場校の頂点に立ったのは津山中学校。5年ぶり6度目の優勝を果たしました。

地元勢では、歌津中学校が第3位に入賞しました。



犯罪に巻き込まれないための寸劇が、子どもたちのために上演されました

犯罪のない地域社会の実現に向けて

10月13日（土）、全国地域安全運動南三陸地区大会が、ベイサイドアリーナ文化交流ホールで開催されました。

会場には防犯関係者など約200人が出席し、大会では防犯功労者の表彰、地区更生保護女性会による防犯寸劇、110番通報訓練が行われたほか、犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けた大会宣言が採択されました。

式典の後、あさひ幼稚園の鼓笛隊演奏と、大森創作太鼓が披露され、会場を盛りあげました。

高度なテクニックを連発 ブロック選抜サッカー大会

9月13日（土）、14日（日）の2日間、平成の森「林間広場」を会場に、少年サッカー大会「第5回宮城県チャンピオンズリーグU-12」（第1回リーグ）が開催されました。

この大会は、県内を10ブロックに分割し、選抜された小学生がブロック代表として出場するもので、この2日間はリーグ戦25試合が行われました。

試合では、高い技術のプレーが見られ、熱戦が繰り広げられました。

なお、総当りの残り20試合（第2回リーグ）は、12月に宮城県サッカー場で行われる予定です。



地元「県北チーム」が華麗なドリブルで攻撃